



福祉施設がICT化を進める際のポイント

福祉の世界でもICT化は日常的に見聞きするようになりました。IT機器を導入することで、業務の効率化のみならず、サービスの質の向上や利用者の満足度向上につながる可能性があるといわれており、導入事業所数は年々増えています。福祉施設の現場においては、ICT化に期待する効果として「情報共有」や「時間の短縮」が挙げられますが、闇雲に導入を進めてしまうと工数増加になりかねません。今回は、ICT化を進める際に押さえておきたいポイントをご紹介します。

【福祉施設のICT導入例とその効果】

福祉施設にとってICT化のメリットは情報共有や時間の短縮です。IT機器を導入し、ネットワーク機能を活用して情報を共有し業務の効率化とサービス向上を目指します。例えば以下のような導入例があります。

介護施設

- 1 **クラウド型介護ソフトの導入** ⇒ 介護記録や請求業務など必要な機能をまとめて管理できる
- 2 **インカムの導入** ⇒ 離れた現場の職員と情報共有が可能になり、効率的に業務行える
- 3 **ビッグデータの活用** ⇒ ビッグデータを蓄積し、国が強力に推進しようとしている科学的介護、エビデンスに基づく介護サービスの提供も可能となる

保育施設

- 1 **保育管理システムの導入** ⇒ 園と保護者をネットワークで結び、登降園連絡や日々の連絡帳機能を活用し柔軟な連携が可能となる
- 2 **スマホアプリの導入** ⇒ 保護者のスマホに必要な連絡を直接お知らせできる

障害者施設

- 1 **タブレットの導入** ⇒ お便りや連絡帳のやり取りを紙からタブレットに移行し、ペーパーレス化が図れる
- 2 **通信環境機器の導入** ⇒ PCとWi-Fiの導入で、保護者勉強会のオンライン開催や療育動画の配信などより幅広い対応ができる

その他にも福祉施設に共通するICT化として、給与計算や勤怠管理システムの導入などがあげられます。利用者サービスの向上においては、職員の定着も重要なポイントです。

辻・本郷グループでは人事労務に関するシステムをご紹介しますので、お悩みの際はご相談を!

ICTの活用により、以下のような効果が実感できたとされています。また、業務効率化により福祉業界が直面する労働力不足にも、ICT化は有効な手段だと考えられます。

記録(音声入力・
バイタルの自動転送)の
省力化により間接業務に
要する時間の短縮

転記作業を
なくしたことによる
ミスの減少

業務効率化による
時間創出でケア・支援及び
保育の質の向上

スムーズな情報共有
による伝達漏れの減少

オンライン会議や
チャット機能の活用による
コミュニケーションの
活性化



【ICT化を進める際に押さえておきたいポイント】

近年のデバイスやプログラムの進化により、期待される効果がより大きく、導入のための費用と手間はより小さくなる傾向にあります。そのため、ICT化をすることは福祉施設においてむしろ当然の風潮であり、自施設で導入しないと他の施設に後れを取ってしまうことになりかねません。

一方でICT化を進めるにつれ情報共有が盛んになる反面、デバイスやサーバー上のデータが重くなったり、増えた情報が整理しきれなくなったりするようなデメリットも生じます。では、ICT化を進める際にはどのような点に気を付けるべきなのでしょう？

まずは、**ICT化の目的を決める**ことです。職員全員で共通認識を持ち、進めていくことを心がけましょう。福祉人材の確保難は今後も続きます。今までと同じやり方では通用しなくなる日が近づいていることを職員全員で認識して、業務の効率化を推進し、サービスの向上につなげていくことが期待されています。

次に、**運用方法の検討**です。自施設に合った完璧なシステムは存在せず、システムにより一長一短があることを認識しておきましょう。導入前には、どういった機能がどこまで必要なのかという要件定義を行い、どのようにシステムを運用するかの検討が必要になります。具体的には、カスタマイズをどの程度行うのか、また、業務ごとに複数社のシステムを繋げるのか、若しくは一社のシステムのなかに全ての運用を入れてしまうのかといった点です。運用方法によって、費用対効果も全く異なることになるのであらかじめ方針を決めておくことが重要です。システム導入において途中で頓挫してしまうのは大きなリスクとなります。

最後に、**組織の柔軟性**です。環境が常に変化する中で、より優れたシステムを導入するための一番の障害は、これまでのやり方を変えたくないという施設側の人為的な原因である場合が多いように感じます。優れたシステムを導入できる施設は、運用方法を柔軟に変更できる施設であるということを意識しておくの良いと思います。これらのポイントを参考に自施設に合ったICT化を検討し、計画を進めてみてはいかがでしょうか。

辻・本郷グループでは経理業務や勤怠管理の効率化を目的としたシステム導入のご支援を行っております。「人手が足りなくて大変」「事務作業を減らす方法を探している」のようなお困りごとがございましたら、一度ご相談されてみてはいかがでしょうか。そのお悩みは、システム導入で改善できるかもしれません。

